

◆住所、勤務場所の変更について

連絡、配本等に直接関係の深い住所、又は勤務場所が変更になった場合には必ずそして成るべく早く事務局までご連絡下さい。そのご連絡がない場合、当方ではわかりませんので旧住所又は勤務場所に送ってしまい、しばらく経ってから不在、不明等の付箋がついて返送されることがあります。そんな時包装紙はぼろぼろになっており、本もいたんていることが多く、その上送料を支払わなければなりません。大へん無駄な費用と労力がかかるわけですので、変更のご通知は必ず忘れずお出し下さい。これは郵送関係者だけではなく一般の会員もぜひ手まめにご連絡下さいますようお願い申し上げます。

◆会費の前納、完納について

これも毎年六月末日までに前納していただくようお願いしてまいりましたが、これを忠実に守ってご協力して下さいる沢山の会員がございませ反面少数ではございますがいつもおくれ勝ちの方がございませ。

今年未だご納入になっていない方は十一月末日までに必

ず完納して下さいませようお願い申し上げます。

◆会費払い込みの場合の記名について

会費払い込みの際は住所、勤務場所、氏名をはっきり、楷書でお書き下さい。特に団体会費の場合その裏面通信欄に、何々学校分、何々公民館分等をお忘れなくご記入下さい。

◆入会申し込みについて

四十七年度は会員が急激に増加したため用意の図書が僅少になりましたので折角お申込みをいただきましたしてもお断りすることがあるかも知れません。入会希望で送金なさる場合は必ず事前にご連絡し入会の承認をうけてからにして下さい。

前橋市城東町二十目三の三
群馬県立図書館内

みやま文庫事務局

電話前橋三二局三〇〇八番
振替東京 一四二五九番



みやま文庫

会報

No. 20

47. 10. 6

事務局より

清原の秋をむかえ皆様にはいよいよご健勝のことと拝察いたします。

さて本文庫も発行以来十二年目を迎え、皆様の温かいご支援と協力の下に益々発展の一途を迎っておりますことを皆様とご一緒に慶祝したいと存じます。おかげ様で本年度は特に順調なすべり出しを見せ、ここに第三回配本として、四七巻「上毛の和算」をお届けすることになりました。

清夜澄下にひもとかれまして、ゆつくりご研究下さいませようお願い申し上げます。

尚第四回配本についてですが、「群馬の短歌集」戦前編となっております。これはみやま文庫賞受賞作品でありまして

編者は群馬町金古の神保冷平氏でございます。また発行配本までには相当の日時を要するものと思われませ、ご期待下さい。

次に四十八年度の出版予定としては

群馬の俳句歳時記 群馬の植物

雷と空っ風 県民性資料集(仮題)

等が挙げられており、中には着々準備が進められているものもありますが、又一面変更になるものもあるかも知れませので、この点もつけ加えておきます。

◆四十六年度の決算並びに四十七年度予算について

次に四十六年度の決算並びに四十七年度の決算について掲げましたのでどうかそちらの上にご了承下さいませようお願い申し上げます。

昭和47年度予算

収入

科目	予算額	説明	明
会費	5,220,000円	会費 1,800円×2,900人分	
補助金	450,000	県費補助金	
寄付金	10,000	寄付金	
雑収入	155,000	既刊図書分売代、予金利子	
計	5,835,000		

支出

科目	予算額	説明	明
人件費	932,000円	職員給与費、旅費、賃金	
会議費	50,000	理事会、企画会議、幹事会費	
原稿料	280,000	原稿料4巻分、執筆諸費	
編集費	120,000	資料調査費、編集諸費	
印刷費	3,880,000	文庫4巻印刷費、会報印刷費	
発送費	340,000	郵便料、配本費、自動車費	
事務費	120,000	事務局事務費、備品費	
諸費	50,000	普及宣伝費	
予備費	63,000		
計	5,835,000		

付記

昭和47年度予算につきましては、前記のように会費の値上げが行なわれましたので、これに基づいて計上されたものであります。
なおこれによる増収分については、主として印刷費、発送費と会員ならび出版量の増加に伴う事務局整備のための経費に充当し、充実した出版の保持を期した次第であります。
ご敬承の上ご協力下さるようお願いいたします。

昭和46年度決算

収入

科目	決算額	説明	明
会費	4,325,080円	会員会費 1,500円×2,883人分	
補助金	450,000	県費補助金	
寄付金	0		
雑収入	160,226	既刊図書分売代・予金利子	
計	4,935,306		

支出

科目	決算額	説明	明
人件費	613,040円	職員給与費、旅費、賃金	
会議費	33,746	理事会、企画会議、幹事会費	
原稿料	253,650	原稿料4巻分、執筆諸費	
編集費	65,140	資料調査費、編集諸費	
印刷費	3,526,350	文庫4巻印刷費、会報印刷費	
発送費	278,130	郵便料、配本費、自動車費	
事務費	116,730	事務局事務費、備品費	
諸費	48,520	普及宣伝費	
計	4,935,306		

収支差引残金 0円

付記

本会の財政運営につきましても、ここ数年諸経費値上りの折から決算時において本年度会費の一部を繰上げして充当する等の措置によりしので来ましたが、本年度においても印刷費、発送費等主体経費の値上りから終始運営に苦慮を重ねて来た実情であります。
このため事業運営の円滑化をはかるためさきにお知らせいたしましたように47年度より会費引上げのやむなきに至った次第でありますので、ご理解下さるようお願いいたします。